

第2学年

書くこと①

社会生活の中から課題を決め、多様な方法で資料を集め、自分の考えをまとめること

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

複数の資料を集め、それらを比較・検討して自分の考えをまとめることができない。

何か調べるときは、インターネットだけを使うなあ……。



複数の資料から自分の考えを書くには、どうすればいいんだろう？

- 自校での「調べ学習についてのアンケート」によると、「最もよく利用する手段」はインターネットと答えた生徒は、81.6%だった。また、「インターネットのみを利用する」という生徒も、32.6%いた。
- 単一の情報のみから自分の考えをもつことが多く、複数の資料を比較・検討して考えをまとめることが不得手である。

実践の概要

単元名

様々な方法で資料を集め、スポーツについてのレポートを書こう

「調べて考えたことを伝えよう」東京書籍

目標 2つの資料を使い、スポーツについてのレポートを書く。

内容 • 選んだ種目についての資料を、図書館やインターネットを使い、班で集める。

• 2つの資料を選ぶ。

• 資料を比較・検討し、レポートを書く。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第3学年	2つの異なる考え方の文章を比較しよう	異なる考え方を取り入れ、自分の考えを深めていくことができない。
第2学年	様々な方法で資料を集め、スポーツについてのレポートを書こう	複数の資料を集め、それらを比較・検討して自分の考えをまとめることができない。
第1学年	小学6年生に向けて学校紹介文を書こう	書くことに苦手意識をもっており、テーマについて様々な角度から自分の考えを書くことができない。

単元末の目指す姿

- 書籍・新聞・インターネットなど、複数の資料を使い、課題について調べることができるようになる。
- 複数の情報を比較・検討し、そこから自分の考えをもつことができるようになる。



つまづき解消に向けた指導の工夫

書籍や新聞など、複数の資料を集める活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 目的に応じた資料の探し方を学ぶ。

ここがポイント

- 最初に種目の概要について百科事典で調べ、全体を把握してから、次にもっと調べたいと思った事柄の専門書を見るように指示する。その際、目次や索引を見ることも伝える。
- 資料を探す際には、今後公共図書館等での調べ学習にも応用できるよう、日本十進分類法の番号〔000総記（百科事典）700芸術（スポーツ）等〕も併せて説明する。

探し方を学び、班で資料を集める



百科事典で調べたら、おおまかな歴史がわかった。

この本には、詳しいルールが書いてある。

伝えたいことによって、取り上げる資料も変えた方がいいなあ。

ここがポイント

- 自分のテーマに合う資料を2つ選び、それぞれをまとめさせる。
 - それらを読み比べ、わかったことや考えられることを考察として書かせる。
- ※考察を書くことが難しい生徒には、2つの資料について、「共通しているところ、または全く違うところを探そう。」と、共通点や相違点に注目するようアドバイスする。

2つの資料を使い、考察を書く

資料1

体操の魅力

2年()組()番 名前()

オリンピックなどで体操競技での日本人の活躍を目にするが、私自身は、ほとんど知っていることがなかった。技や点数のことについて知りたいと思った。

2. 調査方法

体操について詳しく書かれている本で調べた。インターネットで、体操連盟のページを見て調べた。

3. 調査結果

(1) 体操の歴史の美しさとは…

体操は、演技の難しさを先、美しさを競うスポーツだ。演技は点数をつけるのだが、実は満点が存在しない。それは、1976年のオリンピックでソビエト選手が1点満点を2回も出したことから変わったそうだ。全員が技のレベルだけを高めようとし、演技の美しさを見ることが出来た。だから今では、難易度と美しさを分けて採点している。

資料2

(2) 各競技の特徴

体操で「美」と言われるのが、鉄棒、ゆかである。鉄棒…様々なバーの握り方がある。(傾き、逆手など…) 大空に浮かぶような動き、回転技、回転する「車輪」などがある。(例) エンドー 倒立→肩から回転→倒立 逆手→鉄棒の上で回転して体操中から演技面から出たり、時間オーバーになると減点。(例) 鉄棒、ゆか、鞍馬、回転、宙返りなどがある。

4. 考察

2つの結果より、体操は、選手の名前が技名になったり、選手によってルールが変わるなど、各選手が生まれることで発展していくスポーツだと分かった。また、技の難易度だけでなく、奇抜さや危険さまで見ると、美しさと危険さを与えるスポーツだと分かった。技が成功したから完成。ではなく、何々まで美しく魅せようとする気持ちがあると思った。これから、体操を見る時は、技はもちろん、その美しさに注目していきたい。そして、私もスポーツをする人として私も努力を見習いたい。

5. 参考文献

「スポーツなんでも事典 体操」
2008年11月20日 株式会社朝倉出版
「体操競技の採点方法の概要」
<http://fudoushi-taisai.sports.coccon.jp>

(期待される生徒の姿) 各資料（書籍・インターネット・新聞等）の良さを理解し、用途に合った資料を集めることができる。また、複数の情報を比較・検討し、そこから自分の考えをまとめることができる。